

令和5年度夏 子ども図書館おすすめ本

～「夏の読書カード」より～

★中学生におすすめの本★

★『ぼくたちのスープ運動 小さな思いやりが世界を変える!』

ベン・デイヴィス/作 渋谷弘子/訳 評論社



新しい学校での生活を始めたジョーダン。ママが持たせてくれた温かいスープをホームレスの人にあげたことから広がっていった「スープ運動」。どんどん広がって、それがいつしか…。

★『手で見るぼくの世界は』

樫崎茜/作 酒井以/装画・挿絵 くもん出版



視覚支援学校に通う佑と双葉は、この春から中学1年生。しかし双葉はある事件をきっかけに、家から出られなくなってしまう。それぞれの葛藤を乗り越える姿を描いた物語。

★『たまごのはなし』

しおたにまみこ/作 ブロンズ新社



たまごが、ある日とつぜん目を覚ました。はじめて歩き、はじめて話す。マシュマロを起こして、キッチンの台を降り、探検に出かける。読むほどに引き込まれる不思議なお話。

★『こんぴら^{いぬ}狗』



今井恭子/作 いぬんこ/画 くもん出版

飼い主・弥生の病気が治るようお祈りするため、犬のムツキは江戸から讃岐の金毘羅さんまでお参りに出され…。往復の長い旅路と、道中のさまざまな出会いや別れを描く。

★『ボーダレス・ケアラー 生きてても、生きてなくてもお世話します』



山本悦子/作 竹浪音羽/画 理論社

祖母が飼っていた犬の豆蔵が死んでひと月。海斗は豆蔵の空のリードを持って散歩をすると、生と死のはざまに立っている存在「ボーダー」の姿が見えることに気がついて…。

